

事務事業 No./名 称	■サービス部門 市民-35		大船支所管理運営事務							
	□支援部門									
主管課	大船支所		関連課	関係各課						
分野名	行財政運営・コミュニティ活動の活性化									
目標 (目標値)	地域住民の身近なところで、きめ細やかな行政サービスを提供するとともに、支所機能の充実を図り、より一層の市民生活の向上・福祉増進を目指す。									
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考					
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯						
	事業の対象者数	42,689人	42,652人	42,726人						
運営資源 状 況	決算値(千円)	42,018	33,652	35,111						
	(国・県)									
	(負担金等)	50	47	46						
	(一般財源)	41,968	33,605	35,065						
	人員配置数	9.0人	11.0人	11.0人						
	人件費(千円)	70,212	92,698	92,695						
	協 働 の パートナー									
	事務事業 運営経費	総事業費(千円)	112,230	126,350						
市民1人当 りの経費(円)		633	713	721						
対象者1人 当りの経費(円)		2,629	2,962	2,991						
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	秦野市	日野市	立川市	三鷹市
	住所・戸籍移動	未実施	実施	実施	実施	未実施	未実施	実施	実施	実施
	国保・年金移動	未実施	実施	実施	実施	未実施	未実施	実施	実施	実施
	市税等の収納	未実施	実施	実施	実施	未実施	実施	実施	実施	実施
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)			
昼休み窓口業務の実施	◎	目標値	毎日	毎日	毎日	毎日				
		実績値	毎日	毎日	毎日	毎日				
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退										

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止									
大船支所運営事務	8,604千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	■A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要	戸籍届、住民異動届、印鑑の登録・廃止、諸証明書の交付、国民年金、国民健康保険の各種届出、市税等の収納事務、地域団体との連絡・協調に係る事務を行う。													
大船支所管理事務	33,414千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	■A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要	大船行政センターの維持管理を行う。													
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	・支所は本庁の複数の窓口業務を担っており、それらの業務に対応する事務量が年々増大している。また、支所は、個別業務の担当課ではないため、市民からの市政全般や詳細な問い合わせへの対応に苦慮することがある。		
課題解決のための取組	・多様な支所業務に対応できるよう職場研修や外部研修に参加するなどして、職員のスキルアップを図るとともに、本庁の担当課と電話連絡・確認するなど、円滑な業務の実施に努めた。	取組の結果	□解決 ■未解決
未解決の課題	・担当課との更なる連携・連絡の強化及び業務マニュアルの熟度の向上が必要である。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
	➡	②妥当性 ○		↓ A	課長等名
		③有効性 ○			大船支所長
		④公平性 ○			宇高 毅

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
大船支所運営事務	主な個別事業	296 事務補助嘱託員報酬 6人	6,169	6,169	○	○	○	○
		296 文房具等消耗品費	820	820	○	○	○	○
		296 電話、ファクシミリ等電信料	680	553	○	○	○	○
		296 給茶機保守点検委託料	38	38	○	○	○	○
		296 電子複写機賃借料	230	142	○	○	○	○
大船支所管理事務	主な個別事業	297 大船行政センター光熱水費	5,474	4,475	○	○	○	○
		297 施設維持修繕料	7,053	5,718	○	○	○	○
		297 昇降機等施設保守点検手数料	1,232	1,232	○	○	○	○
		297 施設総合管理業務委託料	17,640	17,640	○	○	○	○
		297 夜間機械警備委託料	253	253	○	○	○	○
		297 構内交換電話保守点検委託料	233	233	○	○	○	○
		297 空調機等保守点検委託料	168	136	○	○	○	○
		297 自動扉保守点検委託料	164	164	○	○	○	○
		297 レジスター保守点検委託料	29	29	○	○	○	○
		826 大船行政センター耐震改修設計委託料	6,000	3,381	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							